

令和7年度 第1回 帯広市地域公共交通活性化協議会 議事概要

日 時	令和7年5月20日（火）13時30分～14時30分
場 所	帯広市役所10階 第5AB会議室
出席委員	会長、吉田委員、小森委員、道見委員、千葉委員、尾形委員、寺山委員、塚本委員、徳田委員、皆川委員、久保委員、石山委員、小林委員、日下委員、高谷委員、古井委員、高橋委員（金田代理）、齋藤委員（藤本代理）、阿部委員、高木委員、西島委員（以上21名）
事務局	川角都市建築室長、中田都市政策課長、中島都市政策課長補佐、高橋交通政策係長、豊田主任、関主任補
配布資料	会議次第、出席者名簿（資料1）、十勝バス提供「令和7年度 事業計画」（資料2）、十勝バス提供「新旧時刻対照表」（資料3）

【次第】

- 1 開 会
- 2 議 事

（1）協議事項

- ・議案第1号 十勝バスダイヤ改正に関して

- 3 閉 会

【会議概要】

2 議事

（1）協議事項

議案第1号 十勝バスダイヤ改正に関して

（十勝バス）

《資料2・3に基づき説明》

（会長）

ただいまの説明について質問、意見等あるか。

（委員）

循環線、白樺通線など、朝の便の後、次の便まで3～4時間空いてしまう場合があるようだが、その点についてどう考えているか？

（十勝バス）

長距離路線（陸別線等）は通常通り運行しているので、その時間帯はにそちらの路線を利用して対応いただけるよう、極力影響が出ないよう配慮している。

(会長)

今回の減便でどの程度の影響や利用者数の変化を見込んでいるか？

(十勝バス)

どの程度減るか正確には分からない。しかし、減便した路線に対しては他の既存路線に乗換えていただく形で、無駄な重複運行を削減し、効率化と収益改善を目指している。補助金も抑え、自社収益で運営できる形にしたいと考えている。

(会長)

前回の改正では周知不足から問い合わせや混乱が生じたと認識している。今回は周知・案内に十分気を配っていただきたい。

(委員)

現場は今も要員不足であり、今後2～3年で定年退職者が20名、新たな採用も簡単ではなく、加速度的に人員不足が深刻化する見通し。減便対応だけでの運営継続は難しく、今後の維持方策について抜本的議論が必要。採算が取れる路線を他事業者へ譲渡する等も含め検討がいと考える。

(会長)

運転士不足はこれまでも議論してきたが、今後も分科会等でしっかり取り組み、持続可能な公共交通のあり方を考えていきたい。

(会長)

他に意見等あるか。

《意見等なし》

(会長)

十勝バスには本日の意見も踏まえ、今後の対応をお願いする。

(会長)

本日の議事は以上になるが、全体を通して質問、意見等あるか。

(委員)

利用者目線だが、路線の重複利用例など、サンプル表示などによる分かりやすい周知の工夫は考えているか。特に高齢者など、目で見ても分かりやすい案内が必要だと感じる。

(十勝バス)

現在、高齢者への案内は主に電話で対応しており、職員が路線を案内している。時間がかかるが、個々の状況にあった親切な対応を重視している。現時点では特別な図表等は予定していない。

(会長)

特に高齢者には、スマートフォンを持っていない方も多いため、今後も分かりやすく丁寧な案内をお願いする。

(会長)

その他、質問、意見等あるか。

《意見等なし》

(会長)

以上をもって令和7年度第1回帯広市地域公共交通活性化協議会を終了する。